

2020 年度
海外帰国生 入学試験
国 語

注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は 45 分です。
3. 問題は、1 ページから 17 ページまで印刷してあります。試験が始まったら最初に確認し、足りないページがあったら申し出なさい。
4. 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。
5. 解答用紙には、受験番号・氏名を記入しなさい。
6. 試験が終わった後、問題冊子・解答用紙とも回収します。
7. 記述問題では、指定された字数の 8 割以上は書きなさい。ぬき出し問題では、指定された字数で答えなさい。どちらの場合も、句読点やかぎかっこなどの記号も字数にふくまれます。

共立女子中学校

1 次の1～8の——線をつけたカタカナを漢字で、漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- 1 騒さわぎをセイする。
- 2 大雨によるソンガイ。
- 3 勝つためのサクリヤクをめぐらす。
- 4 交差点をサセツする。
- 5 山の頂上からウンカイを見下ろす。
- 6 一家の大黒柱。
- 7 けがの功名。
- 8 三月三日は桃ももの節句だ。

2

次の1〜5について、ア〜オの——線部のうち、性質・働きの異なるものをそれぞれ一つずつ選び、記号で書きなさい。

1 ア 降られる

イ 晴れる

ウ あふれる

エ しびれる

オ 枯れる

2 ア トマトをスイカと一緒に運ぶ。

イ 動きとリズムを合わせる。

ウ とんぼとせみをつかまえる。

エ ひどい風と雨だ。

オ 食べて休むと元気がでる。

4 ア 彼の走りは見る人に勇気を与えた。

イ 葉っぱがすっかり落ちる季節だ。

ウ 子犬のおびえはおさまった。

エ 木登りは絶好の遊びだ。

オ 今回の作品のできはなかなかのものだ。

5 ア 明日は大変な一日だ。

イ このりんごはとても甘い。

ウ たいそう高価なつぼだ。

エ あれはかなり速い車だ。

オ 体の調子がすこぶる良い。

3 ア 書かせないと覚ええない。

イ 片づけを手伝わせてもいい。

ウ 棚に荷物をのせない。

エ すぐに写真を撮らせよう。

オ 下の枝を切らせましょう。

3 次の詩を読み、下の問いに答えなさい。

ことば

川崎 洋子
かわさき ようこ

1

ことばは 告げるだろうか ことばを。

あるときは 白

あるときは 紫

① 風に木の葉がうらがえるように

ひかたたり かげたり うつろうことば。

ことばは ことばを追ひ

とらえたことばを ことばはたしかめ

もうひとつのことばへ とどけようとする。

けれど ことばは とどくだろうか。

つめたい目に凍ったり

うすら笑いにねじれたり

② ことばの旅は容易でなく

その落下地点は ③ A 草地とはかざらない。

2

わたしは これまでに

どれだけのことばを うけとってきただろう。

水のようにこぼれた ことば。

かっちりとはみあて歯がたをのこした ことば。

1 線①「風に木の葉がうらがえるように／ひかたたり かげたり うつろうことば。」とあり

ますが、これはどのようなことを表していると考えられますか。その説明としてふさわしいものを
次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア ことばの動きの変化は風のように気まぐれだということ

イ 表面的なことばにだまされてはいけないということ

ウ ことばは落ち着くことはなく、常に移り変わるということ

エ ことばでことばを理解することはできないということ

オ ことばはその時々によって様々な感情に変わるということ

2 線②「ことばの旅は容易でなく」とありますが、これはどのようなことを表していると考え
られますか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア ことばをことばで表すことは難しく、周りの人には自分の気持ちを理解してもらえないものだ
とということ

イ 行動や態度で気持ちを表す方が、ことばで表すよりも気持ちが伝わりやすいということ

ウ 周囲の人の反応に傷ついたり、自分の気持ちが伝わらないもどかしさを感じたりするということ
と

エ 自分の気持ちを伝える際に、周囲の態度に傷ついても、いつかはげまされることもあると
いうこと

オ ことばを伝える相手によって、ことばを変え、工夫しながらことばを選ばないといけないとい
うこと

わたしは これまでに

どれほどのことを おくりだしてきただろう。
愛情にうらうちされた ことは少なく
枯れ草のきはしに似た ことはばかり。

けれども ことはすべて

わたしのなかに おちて積もり

ふかふかと ③B 腐葉土となり

わたしをやしな

わたしをふとらせる

3

ある日 ことはいらなかった。

このころは雪どけの川のように

あふれ

はしり

ことは もはや追いつけなかった。

このころは もうひとつのころへ

なだれおち

うずまき

あわだち

やっと しずまってから

ことは やつてきた

おずおずと。

『ハンカチの木』 銀の鈴社 による

3 ③A

③B にあてはまることばの組み合わせとしてふさわしいものを次の中から一

つ選び、記号で書きなさい。

A A やさしげな — B すがすがしい

I A おだやかな — B なごりおしい

ウ A おおらかな — B おとなしい

E A やわらかな — B あたたかい

オ A あやふやな — B たのしい

4 2の「わたしは これまでにくわたしをふとらせる」までのテーマとしてふさわしいものを次の

中から一つ選び、記号で書きなさい。

A 心に残ったことばや取るに足らないことばのすべての経験が自分の心を育てる栄養となる。

I 人は成長していくなかで様々なことばを経験していくが、本当に大切にすべきことばは実は少ないものだ。

ウ 自分のなかに自然とすつと染みこんでいくことばこそが自分を成長させるきっかけとなる。

E 気持ちのこもっていないことばを使ったことを反省すれば自分を成長させることができる。

オ ことばを伝え、受け取ることを繰り返すことが、自分のことばをみがきあげる唯一の手段だ。

5 この詩全体から読み取れることとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

A ことは人を傷つける武器にもなるが、使い方によっては人の救いにもなるのだということ

I ことは伝達の手段であり、自分を成長させるものであり、自己を見つめ直すものでもあると
いうこと

ウ ことばを通じてしか人はコミュニケーションをとれないので、ことばは大切なのだということ
E ことばがないと人は傷つき、自分の気持ちを抑えることができないので、ことばとじっくり向
き合う必要があるということ

オ 人はことはなくても心を通い合わせることができ、絆も強めることができる生きものだ
ということ

4 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

呼吸をととのえながら、演壇へ向かった。

「核兵器は平和の維持に役立つ」というスノーマンの見解に対して、わたしは反論するつもりはなかった。

わたしの言いたいことは、ほかにある。

言いたいことは、①これしかない。

これを言うために、きょうは②ここに来ている。

「みなさん、先週、ノーマンがここで述べてくれた原爆死没者のための慰霊碑について、そこに刻まれている日本語の文章と英語の翻訳文について、今一度、思い出していただけますでしょうか？」

背後のスクリーンに、文言を映し出すことができれば、話はよりスムーズに進められるのだろうが、それはできないから、わたしはゆっくりと、間を置いて、スノーマンの提示した日英の文章——もちろんわたしは暗記している——を二度ずつ、くりかえした。

この言葉を最初に聞いたとき、わたしの受けたショックを思い出しながら。

そして母から、この言葉のはらんでいる、深くて広い意味を教わったときの、③別の意味でのショックを思い出しながら。

〈安らかに眠って下さい

過ちは

繰返しませぬから〉

Rest in peace

For WE JAPANESE shall not repeat the error

母はきょう、会場へは来ていない。来てくても来られなかったのだ。彼女は三、四日ほど前から夏風邪を引いて高熱を出し、寝こんでいる。

父のすがたは遠くに小さく見える。「きょうの発表、ぜひ聞いて」と、わたしからお願ひしておいた。

母のかわりにしっかりと、聞いてもらいたい。

レッスンの成果を、見届けてもらいたい。

自分が④こんな気持ちになるなんて、想像もしていなかった。

額に氷枕こおりまくらを押しつけて横になつてゐる「先生」のベッドサイドで受けた「日本語のレッスン」は、こんなふうだった。

—あのね、教えてほしいことがあるの。辞書で調べてみたんだけど、意味がつかめなくて。

わたしはそう言つて、母に、慰霊碑に刻まれた文章のメモを見せた。日本語と英語の両方を。

母は最初、目をぱちくりさせていた。

つかのま、わたしの手書きのメモを見つめたあと、口を開いた。

—あやまちはくりかえしませんから、と言つてゐるのはね、それは「日本人が犯したあやまち」というような、せまい意味で言つてゐるのではないの。この英訳は、まちがつてゐるわね。あきらかな誤訳よ。

—だったら、どう訳せば？ アメリカ人が犯したまちがいつてこと？

—もしもそうなら、スノーマンの主張を一気にひっくりかえせる。

母は首を横にふつた。

—それもちがう。もしもアメリカ人を主語にするなら、日本語の述語は「くりかえさせません」と書かなくちゃならないの。

—アメリカ人でも日本人でもないのなら、いったいこのあやまちは、だれのあやまちなのか？

—われわれ人類は、あやまちをくりかえしませんつて、そう言つてゐるの。

—えっ！ 主語は人類なの？ そう書かれてゐるの？

—そうじゃないの。主語は書かれてゐないの。どこにも。

—まさか！

—④日本語といふのはね、英語とちがつて、主語がなくても文章が書けるの。

—そんな！ だったら、主語はだれなのかつて、どうやってわかるの？ わからないでしょ？

—わかるのよ、それが。わかつてしまふの、私には。日本語といふのは、そういうふうにできているの。

母はわたしに、書棚しよたなから何冊かの本をとりださせて、主語なしで書かれてゐる文章とその解釈方法かいしやくについて、初心者向けの講義をしてくれた。

熱があるというのに、母は熱心に教えてくれた。

—なんだかうれしそつだつた。いや、実際にとてもうれしかつたんだと思う。子どものころ、わたしに日本語を習得させたくてたまらなかつたのに、わたしがひどくいやがつて反抗はんかうしたために、結局わたしは日本語をまったく理解できないまま中学生になつた。

彼女のレッスンを受けているうちに、少しずつ理解がやつてきた。

そういえば、第一回の討論会で発表するために、峠三吉の詩を翻訳しようとして格闘していたときにも、母のアドバイスに従って、日本語には出てこない主語をいくつか補足したのだった。

母の(注4)即席講義によると、わたしたちは常日頃から(注5)「I think……」「I believe……」「I guess……」「I feel……」というふうに、思考や感情の表現を「I＝私」から始めるくせというか、習慣というか、回路みたいなものが身につけてしまっている。

つまり、英語の世界は、「私＝自分」という一人称と、「あなた＝他人」という二人称でできあがっている。

「日本語の世界は、そういうふうにはできあがっていないの。日本語の『私』は、まるで風か水か空気みたいに、自己主張をすることなく、『あなた』に溶け込むような形で、『世界』と一体化するような形で、存在しているの」

わかったような、わからないような、(注6)摩訶不思議な説明だった。

「たとえば、部屋に十五人のアメリカ人がいたとするでしょ。すると、十五人はみんなそれぞれに『私はこう思う』『僕はこう思う』『俺はこう思う』って、てんでんばらばらに自己主張を始めるでしょ。でも、日本人はしない。十五人の日本人は、自分がどう思うかよりもまず、ほかの十四人はどう思うのかを重視するというか、思いやるというか、そうやって思いやりながら、まわりに自分をあわせていくことができるの。個人よりも、十五人の調和を重んじるのね」

この説明は、けっこうわかりやすかった。

わたしなりに、わたしの理解をまとめると、こうなった。

「あやまちはくりかえしません」と言っているのは、私＝日本人であり、あなた＝アメリカ人であり、世界＝人類でもある、ということ。

ああ、この理解をどういうふうに説明すれば、肯定派のメンバーと会場の人々に、英語を母国語とする人たちに、わかってもらえるのだろう。わたしは頭をかかえた。この討論会は「原爆投下の是非」を問うものであって、日本語のお勉強をするものではない。

スコットとジャスミンとダリウスに相談してみたところ、三人から返ってきた答えは、異口同音だった。

「今のその説明ときみの解釈を、お母さんとの会話から始めて、そっくりそのまま、話してみるといい。伝わるか、伝わらないか、胸に響くか、響かないか、そんなことは考えなくていい」

だから、そのようにした。

理解されるか、されないか、そんなことはどうでもよかった。

わたしはただ、わたしの受けた、いい意味でのショックを、日本語という言葉の奥の深さを、その世界観を、入り口の部分だけでもいいから、みんなに伝えたかった。

「……これで、日本人自身がみずからの罪を懺悔し、原爆投下を受けて当然だった、原爆投下は正しかったと思っ
ていない、と、この慰霊碑は語っているのです。原爆投下は、アメリカの犯した罪ではない。」
⑤の罪だと言っているのです。ここからわたくしは、もう二度と同じあやまちを犯しては
くしことですが、わたしはノーマンの第三回の発表を聞いて、日本語と日本文化に深い興味をいだきました。自分の進路は、これで決ま
ったと思っ
ています。わたしは日本のことをもっと知りたい。原爆について書かれた日本文学を、これから少しずつ、ひもとい
てみるつもりです。そのために、
⑥日本語を猛烈に勉強するつもりです。これまでは、スペイン語かフランス語を第二外国語にしたいと思っ
ていたのですが、ジャ
スミンの言ったように、わたしも個人として、平和を創造していきたい。日本を知る、日本語を学ぶということが、わたしの平和への第一歩
です。そしていつか、日本へ行ってみたいと思っ
ています。日本の子どもたちと話をしてみたいと思っ
ています。平和について、原爆について、
そして、広島へも長崎へも行っ
てみたいと思っ
ています。原爆を落とされた土地に、自分の足で立っ
てみたいのです。この討論会はきょうで終
わりますが、わたしの平和の創造は、きょうから始ま
ります」

八分ぎりぎり、わたしのスピーチは終わった。

拍手は、わたしの耳には入っ
てこ
なかつた。

おそらく全力疾走を終えたランナーみたいな状態だったの
だろう。心ここにあらず。

(こ
こ
で
ま
り
る
い
『ある晴れた夏の朝』借成社 による)

注1 スノーマン || ノーマンのあだ名。スノーマンとノーマンは同一人物

注2 慰霊碑 || 死んだ人のたましいをなくさめるために建てたもの

注3 文言 || 文章の中の言葉

注4 即席 || その場で、すぐする

注5 「I think……」 「I believe……」 「I guess……」 「I feel……」 || 上から「私は〜と考
える」「私は〜を信じている」「私は〜と思っ
つ」「私は〜と感じる」の意味

注6 摩訶不思議な || 非常にふしぎな

注7 懺悔 || 神仏や人に、おかした罪やあやまちを正直に話してゆるしを願うこと

1 —線①「これ」とありますが、どのようなことですか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 「核兵器は平和の維持に役立っている」というスノーマンの見解に対する反論、ということ

イ 「核兵器は平和の維持に役立っている」というスノーマンの見解に対する賛同、ということ

ウ 原爆死没者が安らかに眠るためには、世界中の人々は、同じあやまちを再び犯してはいけない、ということ

エ 原爆投下が再び起きないように、日本人は自分たちの罪を認め、あやまちを繰り返してはいけない、ということ

オ わたしは日本のことをもつと知りたいので、原爆について書かれた日本文学を少しづつ理解してみるつもりだ、ということ

2 —線②「別の意味でのショック」とありますが、その内容としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 日本語で書かれた原爆死没者のための慰霊碑の英訳が不適當だったと発見したこと

イ 日本語は、主語のない、おかしい文法が成り立つことがわかったこと

ウ 慰霊碑の日本語の文章では、誰が^{だれ}あやまちを犯したかはつきりとわからないということ

エ まったく理解できていなかった日本語という言葉の奥の深さや、世界観を感じたこと

オ 英語を母国語とする人たちにどういふふう^{いふふう}に説明しても、わかってももらえないこと

3 —線③「こんな気持ち」とありますが、その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 母とのやりとりからまとめた、今日の発表のきばえを見てもらいたい気持ち

イ ノーマンの言っていたことに反論する勇ましい姿を見届けてもらいたい気持ち

ウ きょうの発表のために、「先生」に一生懸命^{いっしょうけんめい}質問して作った原稿^{げんこう}を見てもらいたい気持ち

エ 原爆死没者のための慰霊碑の、新しい英訳を発表する晴れ舞台^{はるたい}を見てもらいたい気持ち

オ スコットやジャズミンたちに反対されても発表すると決めた舞台を見てほしい気持ち

6 — 線⑥「日本語を猛烈に勉強するつもりです」とありますが、わたしはなぜそのような気持ちになったのですか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 「核兵器は平和の維持に役立つ」というスノーマンの見解を見事にくつがえした日本語をもっと極めたいと思ったから。

イ これまでは、スペイン語かフランス語を第一外国語にしたいと思っていたが、日本語の主語のない文章に魅力を感じたから。

ウ 原爆死没者のための慰霊碑を、日本語できちんと理解するためには、日本語を学ぶべきだと思ったから。

エ わたしは平和を創造していきたいと思いはじめ、そのためには日本を知り、日本語を学ぶべきだと思ったから。

オ 母に教わったことによって日本語の奥深さを改めて感じたわたしは、日本文化も学ばなければならぬと思ったから。

7 本文の内容と合っているものを次の中から二つ選び、記号で書きなさい。

ア 「核兵器は平和の維持に役立つ」というスノーマンの見解に対して、わたしは反論しようとしている。

イ 日本語に対する抵抗感が、母のレッスンを受けているうちに消えていき、討論会でしっかり発表できた。

ウ 英語の世界は、一人称や二人称でできあがっているが、日本語の世界の一人称は言葉の間に溶け込むことができる。

エ 母は、日本人が自分たちの罪を認め、原爆投下はされて当然であったと感じたため、あの慰霊碑を建てたと思っている。

オ わたしのスピーチは八分間の持ち時間ぎりぎりまでかかり、話し終えたとき拍手は起こらなかった。

(このページに問題はありません。)

5 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

はるか遠い未来、^①AIが人間と同じレベルへと到達した未来は、いったいどうなっているのでしょうか。ここはもう想像でしか語ることはできませんが、^②悲観する必要はないと思っけています。先ほどのAI研究者に対する調査においても、45%のAI研究者が、人間を超えるAIの登場は、良い影響をもたらさだろうと考えています（これに対し、悲観的な意見は15%しかありませんでした）。

そもそもAIは、人間が生きるために仕事に追われることをなくそうとして開発されている面があります。AI化が進めば、衣食住をAIが自動で生成できるようになるでしょう。そうなれば、^③人間が生きていくこと自体に特に問題は起こらなくなつてくると考えられます。

もちろん、AIが進歩していく過程で、人間に悪い影響をもたらす結果が出てこないとは限りません。AIを悪用する人間が出てくる可能性はありますし、「目標設計」を持ったAIが、人間の存在を肯定的に捉えない可能性もないと言ひ切れません。こうした^④懸念に対し、AI活用における^⑤倫理を整えようという動きが各所で生まれています。

その際に重要なことは、AIと人間が共生する幸せな世界を目指すという目標に向かう方法を、「みんな」で^⑥模索していくことではないかと思ひます。そしてその実現は、共に歩む存在であるAIについて無知な状態ではままならないでしょう。AIを正しく理解し、課題を「動機」で正しく捉え、どういふ解決を目指すべきかを「目標設計」で見定めていく、ということ「みんな」が意識していくことが重要なのではないかと思ひます。

AIは退化しないため、いつかは人間を超えるでしょう。しかし、^⑦人間が不要になるとは限りません。先ほども触れたとおり、あくまでAIは知能の優れた一個人と捉える方が正しいと思ひます。人間はすべて同じではなく、その価値基準からくる個性を持っています。個性は価値観の在り方の差異であり、^⑧一概にどれが正解ということはないでしょう。自分と同じ価値判断を持ったAIが自分を補助してくれる、そんなAIと人間の世界が生まれるのではないかと思ひています。

^⑨全能なAIがあれば人間は何もしなくていい、とも限りません。これに関して、一つ^⑩面白い研究があります。AIのように永遠に生き続けて知識を吸収し続ける存在と、人間のように世代が変わることに知識が失われてしまう存在とを、比較してみたという研究です。生物は世代交代をする際に、前の世代が培った知識を自動的に引き継ぐことはできません。基本的には失われてしまひます。しかし、AIは永遠に学習し続けることができますから、前の世代の知識をそのまま引き継いでいる生物、と表現することもできます。そこで、人間のように、前の世代の知識を引き継がない生物と、AIのように、前の世代の知識を引き継げる生物を仮想的な世界で育ててみます。そのなかで、^⑪天変地異が発生し、今まで培った知識がまったく使えない、むしろ逆効果になつてしまふということが繰り返される状況を作つてみます。するとどうなるでしょうか。

残念ながら、前の世代の知識を引き継げる生物(AI)は環境の変化にほとんど対応できませんでした。端的に言つてしまへば、^⑫A

かねない状況おちいに陥おちいつたのです。一方で、前の世代の知識を引き継がない生物（人間）は、世代を重ねるにつれてそんな過酷かこくな環境にも対応できるようになっていったのです。

これはあくまでも仮想的な推定シミュレーションであり、現実の世界でも同じことが起こるかは分かりません。しかし、人間がなぜ有限の命であり、培われた知識をそのまま引き継がないのか、それは急激な環境変化の中でも種を存続できるようにするため、という可能性も考えられるわけです。

つまり、これまでの知識を集約した全能なAIが生まれたとしても、未来におこるすべてに対応できるとは限らないのです。生物を⑥Bさせていく上で、人間がなさなくてはならない役割が永遠に残り続ける可能性は十分にあるわけです。

ただそうはいっても、仕事をする必要はほとんどなくなっていくでしょう。少なくとも、生きるために必死に働く必要はなくなると思われます。そのとき、人間は何をして暮らしているのでしょうか。

あくまで想像でしかありませんが、人間は働かなくてもいい状況になったとしても、新しい何かを作り出して誰かに与えるあた、という営みは続けていくのだろうと思っています。それは生きるためにやるのではなく、自分がそうしたいからやるようになっていくのではないかと思います。

最後に、一つの研究を紹介しょうかいして締めくくりたいと思います。まず、②歳さい未満の幼児にお菓子を与えます。そのあとで、お菓子のうち一つをぬいぐるみに与えるように促うながしました。その際の幼児の反応から幸福度を評価したところ、お菓子をもたらしたときより、ぬいぐるみに分け与えたときの方が、幸福度が高かったのです。さらに、分け与えるお菓子が自分のものかどうかによっても、幸福度が異なっていました。誰かに手渡された直後のお菓子、つまり自分のものだとは思えないお菓子を分け与えるより、自分に分け与えられたお菓子から分け与える方が、幸福度が高くなっていたのです。

過去の研究で、大人が人を助けることに満足感を得ることは分かっていますが、幼児の段階ですでにその考え方を持っていることが研究によって明らかになったのです。つまり、人は生まれながらにして誰かに何かを与えたり助けたりすることに幸せを感じる生き物である、ということなのでしよう。

楽観的な考え方もありませんが、人間が生まれながらにして、誰かに何かを与えたり助けたりすることに幸せを感じるという事実は、明るい未来を期待させてくれるものではないかと思えます。AIによって、生きるために働く必要がなくなった遠い未来、人は誰かを喜ばせるためだけに何かを生み出していく、そういう理想的な世界に辿たどり着ついていけるのではないのでしょうか。

もちろん、そう理想通りに進むとは限らないかもしれません。ただ、そのような理想を目指して、一人ひとりがAIを正しく理解して向き合っていくこと、それこそが、これからの時代において必要なことなのではないかと思っています。

（藤本 浩司・柴原 一友『AIにできること、できないこと』日本評論社による）

- 注1 AI Ⅱ 人工知能、または、それを使った技術
- 注2 懸念 Ⅱ 心配
- 注3 倫理 Ⅱ 道徳的な考え
- 注4 模索 Ⅱ あれこれと探し求めること
- 注5 一概に Ⅱ ひとまとめにして
- 注6 全能な Ⅱ 何でもできる
- 注7 天変地異 Ⅱ 自然界に起こること。台風、地しんなど
- 注8 シミュレーション Ⅱ モデルを作って行う実験

1 ——— 線①「悲観する必要はない」とありますが、これはどのようなことですか、その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

- ア AIを悪用する人間が出てくる可能性があるが、AI自身が善悪を判断できるということ
- イ 人間を超えるAIの登場は、人間にとつての利点が多いと信じていること
- ウ 「目標設計」を持ったAIが、人間の存在を否定的に捉えるにちがいないと思うこと
- エ AIと人間が共生する幸せな世界に近い将来必ず来ると確信すること
- オ AIが人間とほぼ同じ価値判断を持つことができるようになると思われること

2 ——— 線②「人間が生きていくこと自体に特に問題は起こらなくなってくる」とありますが、これはどのようなことですか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

- ア AIが仕事をしてくれるので病気をしなくなる。
- イ 自分の代わりにAIがあらゆる体験をしてくれる。
- ウ 自分で悩んだり考えたりしなくてもよくなる。
- エ 生活に関する多くのものをAIが作り出せる。
- オ 自分の将来をAIに決めてもらうことができる。

3 — 線③「人間が不要になるとは限りません」とありますが、これはなぜですか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア AIがあつたとしても、それを使いこなすことは人間にしかできないから。

イ 想像をふくらませて将来を見据^{みす}えることは人間にしかできないから。

ウ AIの知識を正しく引き継ぐことは人間だけができることだから。

エ 環境の変化にうまく対応できるのはAIではなく人間だから。

オ 人間が存在しないとAIと共生する相手がなくなってしまうから。

4 ④にあてはまることはとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア たとえば イ つまり ウ また エ なぜなら オ とくに

5 — 線⑤「面白い研究があります」とありますが、なぜ筆者は「面白い」と感じていると読み取れますか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア AIと人間のどちらが優れた存在かを示せる実験ができたということに、たいへん満足しているから。

イ AIの欠点が見つかったことで対処すべき課題が分かり、研究内容をとっても有意義に感じているから。

ウ 一見劣^{おと}っているように思える人間の方が優れている点があることを思いがけずに発見し、感心しているから。

エ AIにはできない、仮想の状況を作り出すことができるという人間の優位性が明らかになり、喜んでしているから。

オ 人間のこれからの生活には、やはり知識を引き継げるAIとの共生が不可欠だと改めて理解できたから。

6 ⑥A・⑥Bにあてはまることはの組み合わせとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア A 絶望 — B 希望

イ A 全滅^{ぜんめつ} — B 復興

ウ A 絶命^{めつめい} — B 誕生

エ A 滅亡^{めつぼう} — B 進化

オ A 絶滅^{ぜつめつ} — B 繁栄^{はんえい}

7 線①「2歳未満の幼児」とありますが、この研究を「2歳未満の幼児」を対象とすることによってどのようなことがわかりましたか。本文中のことはを用いて、次の（ ）にあてはまるかたちにして、四十字以内で説明しなさい。

（ ） **がわかった。**

（下書き用）

がわかった。								
								32

8 本文の内容と合っていないものを次の中から二つ選び、記号で書きなさい。

- ア 未来において、AIは人間にめぐみをもたらすだろうと考える研究者は半数近くに及ぶ。
- イ 筆者は、人間とAIの将来をさまざまに想像しているが、基本的にたいへん明るい希望をもっている。
- ウ これからは人類の生活はAIがすべてを動かすので、人間はAIを正しく育ていくことが必要となる。
- エ AIは知識をずっと積み上げられるが、人間は世代が変わると知識は失われる。
- オ AIと共存する将来は必ずしも明るいものばかりではないが、それを克服しようとする動きは出てきている。
- カ 人間と同様に見られるAIの多様性は、正しいものばかりではないことが予想される。

（問題はこれで終わりです）